

第1回 田名部まちなか再生ワークショップ

1. ワークショップの背景、目的

田名部の中心市街地地区は、大畑線廃線やまちなかのシャッター街化、大規模小売店舗の閉店による空き地・空き家の増加等により都市環境が悪化するなど、衰退が進行しています。旧中心市街地活性化法に基づく中心市街地活性化基本計画の策定や、交流施設設置等の活性化事業が展開されているものの、依然として、中心市街地の空洞化に歯止めがかかっていません。

こうした中、民間による福祉施設や共同住宅などの立地の検討やNPOが空き店舗の利活用による子育て支援等の展開、さらには平成23年度から田名部駅前通り商店街による地域商店街活性化事業（経産省所管）が始まるなど、新たな動きが現れています。

こうした動きを効果的・継続的に推進するためには、まちづくりの主役・主体となる住民、事業者、地権者等が継続的に事業や活動を担う仕組みづくりや、市も含めたまちづくりに関わる主体が共有できる目標や手法の検討が必要となっています。

こうした背景のもと、市では、まちなかの魅力・活力の維持向上を通じた地域参加型の持続可能なまちづくりの実現と定着を図ることを目的とし、国土交通省所管の「都市環境改善支援事業（エリアマネジメント支援事業）計画コーディネート業務」を実施することとしました。

※エリアマネジメント支援事業とは…

『地域における良好な環境や地域の価値の維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み』に対して、立ち上げ時期や計画づくり、社会実験などへ支援をする事業です。

- ①「つくる」だけでなく「育てる」
- ②行政主導ではなく、住民・事業者・地権者等が主体的に進める
- ③多くの住民・事業主・地権者等が関わり合いながら進める
- ④一定のエリアを対象にしている

2. エリアマネジメント活動の進め方、体制

○平成23年度

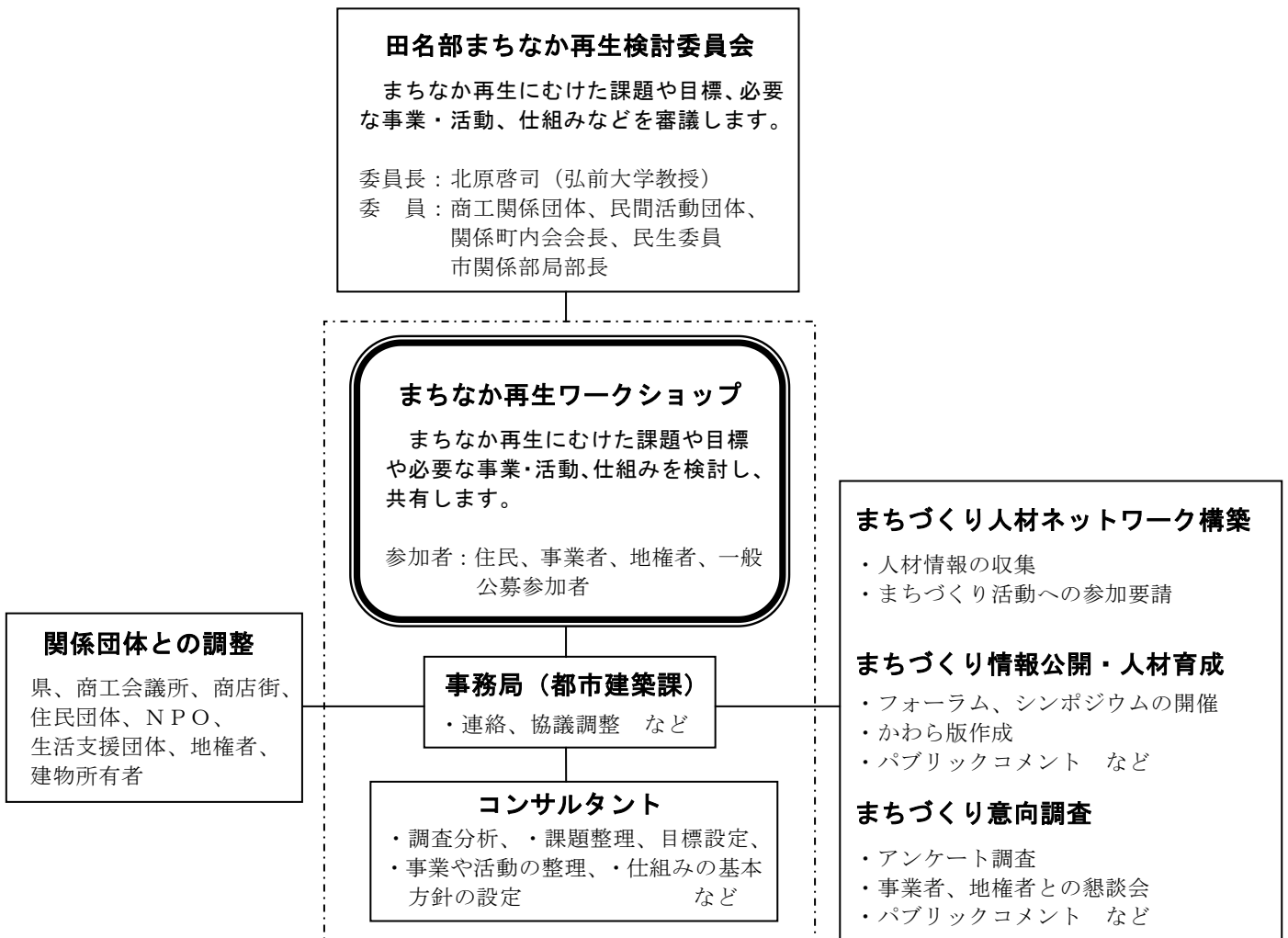
「まちなか再生検討委員会」における審議を踏まえ、地区特性、住民、事業者、地権者の意向、関連計画等を踏まえつつ「地区の課題と目標」や、「事業と活動、仕組みの基本方針」の案を作成します。

○平成24年度

エリアマネジメントの仕組みを発足させ、事業と活動、仕組みの基本方針を決定し、具体的に事業と活動を進めます。必要に応じて社会実験事業や活動を実施します。

まちなか再生ワークショップでは、田名部のまちなか再生に向けて、地区の目標、目標達成のために必要な事業や活動、必要な仕組みづくりなど検討し、提案します。

図 平成23年度のエリアマネジメント活動の体制



3. モデル地区の設定

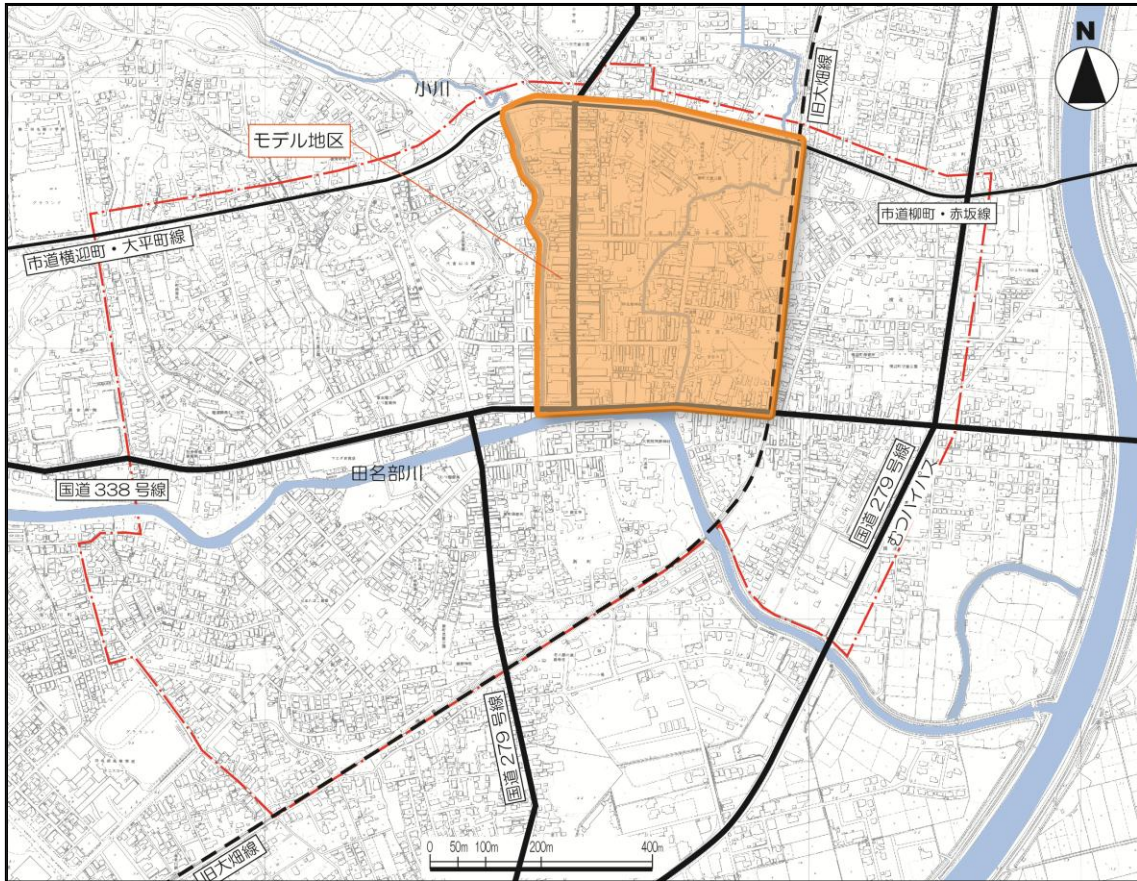
エリアマネジメントは、地域住民や事業主、地権者など多くの人が関わりながら進めるため、一定のエリアを対象とすることが基本となります。

むつ市の田名部中心市街地は約 152ha と広く、住宅地、商業地など土地建物の利用も異なり、地域によって課題や求められる活動は異なることが想定されます。

平成23～平成24年度に先行的に取り組むモデル地区として、現在まちづくり活動が活発になっている田名部駅前通り商店街を中心とした区域を設定します。

具体的には、田名部川や小川、旧大畑線は地域資源としての活用が期待できることから、北は市道横迎町・大平線と市道柳町赤坂線、南は田名部川と国道 338 号、西は小川、東は旧大畑線で囲まれる地区とします。

図 モデル地区の設定



このモデル地区は、田名部中心市街地全体へエリアマネジメントを広げる先導的役割を担うものであり、中心市街地におけるまちづくり活動をこの地区に限定するものではありません。

ワークショップには、他の地区の住民にも積極的に参加を求め、他の地区からみたモデル地区の資源や課題、求められる役割などの再発見につながるるとともに、エリアマネジメントの手法を共に学習しながら、他地区へ波及させていきたいと考えています。

4. まちなか再生ワークショップの進め方

ワークショップは全3回を予定しており、概ねのスケジュール、内容は次ページの通りです。また、毎回の会議での検討結果を取りまとめ、次回の会議の検討材料として活用します。

※ワークショップとは…

- ・「仕事場」「工房」「作業場」など、共同で何かを作る場所の意味です。元々は美術関係で参加型、体験型の講座として広まりました。
- ・近年は、まちづくり活動で行政と住民と一緒にプランを練る場面でよく使われます。
- ・通常の会議のように、一方通行で意見を言い合うのではなく、参加者がみんな意見を出し合い、みんなですべてまとめていく会議手法です。

表 ワークショップのスケジュール

| | 10月 | | 11月 | |
|-------------------|----------|----|----------|----------|
| | 10 | 20 | 10 | 20 |
| まちなか再生 ワークショップ | 第1回 ● | | 第2回 ● | 第3回 ● |

○第1回 ワークショップ（10月8日）

- ・第1回ワークショップ（10月8日開催）

モデル地区のまち歩きを実施し、地区の資源や課題を把握し、写真等によるマップづくりを行います。



- ・第2回ワークショップ（10月30日開催予定）

第1回ワークショップの結果等を基に、地区の目指すまちづくりの方向性を整理し、それを実現するために資源の活用方法や課題を克服するための事業等のアイデアを出し合います。



- ・第3回ワークショップ（11月中旬開催予定）

モデル地区において事業等を展開するために必要な体制等の仕組みづくりについて検討します。

5. 第1回ワークショップのポイント

第1回ワークショップでは、モデル地区の“まち歩き”を行います。

まち歩きは単に歩くだけでなく、モデル地区の“良いところ”や“改善したいところ”を写真に撮影して、記録していきます。

最終的には、写真を地図上に貼り付け、マップ作りを行います。

○写真撮影のポイント

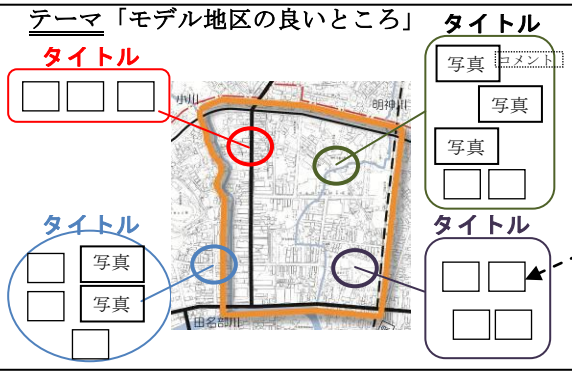
- ・写真は各グループに渡してあるデジタルカメラを使って撮影します。
- ・モデル地区を歩きながら、撮影する場所などをメンバーで相談しながら決めましょう。
- ・撮影したら、「何を撮ったのか」手持ちの地図にメモしておきましょう。
- ・撮影する写真は、建物、場所、空間、人物、地域活動、道路、自然、風景など、何でも構いません。

自分のお気に入りや直した方が良いと思うところを教え合いましょう。

- ・「こんな風に使ったら、もっと活かせるのに…」など、活用アイデアでも構いません。

表 進行表

(所要時間：4時間20分)

| | 作業内容 | 成果品のイメージなど |
|---------------------------------------|--|---|
| はじめに (5分) 13:05 | あいさつ ・まちなか再生ワークショップの目的について説明します。(市) | |
| (5分) 13:10 | ワークショップの進め方について ・ワークショップの内容、おおよそのスケジュール等について説明します。(コンサル) | |
| ステップ1 (10分) 13:20 | 今日のプログラムの流れについて ・今日のワークショップの進め方について、簡単に説明をします。(コンサル) | |
| ステップ2 グループ作業 (60分) 14:20 | “まち歩きのコースを考えよう” ・現況特性図を参考に、モデル地区の中で見に行きたい場所や歩いてみたいコースを設定しましょう。 <注意点> ・グループで行動しますので、コースもグループ内で相談して決めます。 ・他のグループとコースが重なっても構いません。 ・1時間程度で回って歩ける範囲にしましょう。 ・街の駅から出発し、街の駅に戻るコースとします。 | <ul style="list-style-type: none"> 各グループの進行役の指示に従って、検討を進めます。 会議進行のルール <ol style="list-style-type: none"> ① 相手の話をよく聞く ② 相手の話は批判しない ③ 意見の発表は手短に 意見の書き込みには、事務局の用意したサインペンを使います。 意見はポストイット1枚につき1つ、箇条書きにします。 |
| ステップ3 グループ作業 (60分) 15:20 | “実際にまちを歩いて、モデル地区の良いところ、改善したいところを見つけましょう” ・ステップ2で設定したコースを実際に歩き、気になったところを写真に撮ります。 <注意点> ・撮った写真は、街の駅に戻ってから、「地区の良いところ」「改善したいところ」に分類します。 ・整理しやすいように予めメモを取っておきましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> グループ単位で行動します。 サブマネージャーがデジタルカメラを持ちます。 写真を撮るときは、サブマネージャーが撮影し、地図などに何を撮影したかメモしておきます。 |
| 休憩(30分) 15:50 | ・街の駅にゴールしたら、事務局にデジタルカメラを渡し、印刷している間に休憩を取ります。 | |
| ステップ4 グループ作業 (70分) 17:00 | “撮影した写真を使って、グループの意見を整理します。” ・模造紙の上に、写真とポストイットを貼って、モデル地区の「良いところ」「改善したいところ」を整理します。 ◇整理のイメージ例  | <ul style="list-style-type: none"> 水性マーカーを使い、模造紙に整理します。 撮影した写真やみんなの意見を模造紙に貼り、同じ場所や似ている意見をグループ化して整理します。 写真には、何を撮影した写真か、コメントを付けます。 グループ化した意見にタイトルをつけます。 全体のテーマをつけます。 意見の整理が終わったら、次の発表に備え、参加者の中から発表者を決めておきます。 参加者全員で発表しても構いません。 |
| 休憩(意見の整理が終わったグループから休憩に入ります)5分程度 | | |
| 各班発表(10分) 17:15 | グループ毎に発表します(各班5分程度) ・作成した模造紙をボード(または壁面)に貼りだし、グループ毎に発表します。 | |
| (5分) 17:20 | ・事務連絡(市) | |